



# 「コガタブチサンショウウオ」



キョーコちゃん

ミスくん



サンショウウオというものは繁殖期以外に生息地に行ってもまず見つからない生き物というのがセオリー。特に山地の源流域にいる流水性の種類は繁殖期でも見つけるのは容易ではない。だが、実はこのコガタブチサンショウウオに関しては流水性サンショウウオの中では一番見つけやすいのではと思う。ただし見つけ方のコツが分かっている話。私もこのコツを掴むまではもはやUMA(未確認動物)ではないかとさえ思っ

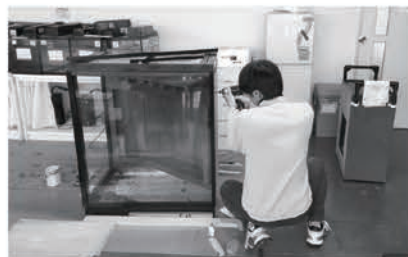
たほど見つけるのに苦労した。そのコツさえ分かれば灼熱の真夏の時期以外ならほぼ見つけることが出来る。そのコツはここではヒミツ)

ところがその産卵場所を見つけるとなると難易度は桁違いになる。源流域の地下を流れる伏流水の中で産卵するという特殊な繁殖生態を持っており、ちょっと沢の石をめくれば見つかるかというそんな甘いものではない。四国や本州産のものはこれまでに産卵場所と産み付けられた卵囊が見つかるが、九州産のものは未だかつて誰も目にしたことがないのである。5月の下旬頃に卵でお腹が大きく膨らんでいるとおぼしき個体を何匹も見ているので多分この頃が産卵期ではないかと睨み、私も2年前くらいから卵の発見に挑戦をしている。しかし沢の斜面から染み出る伏流水の流れを頼りに地面に這いつくばり泥まみれになりながら掘り進んで行っても、大量の土砂や硬い岩盤に阻まれ発見には至っていない。今年こそは九州初のコガタブチサンショウウオの卵の発見者になれるのか。「どうせ見つからんやろうなあ」という半ば諦めの気持ちと「もしかしたら今年こそは!」という期待が交錯するなか、そろそろ3年目の卵探しのシーズンを迎える。

## スタッフの飼育日誌

### “そろそろ戻ります!”

館内の改装工事に伴い仮事務所に移転してから4カ月、遂に工事も終わりいよいよ真新しくなった水環境館に戻ることになりました。長いようであるという間の4か月間は接客も見学の対応もない、ただひたすら生き物の世話と諸々の作業に向かい合う日々でしたが引っ越し先である八幡西区の皇后崎浄化センター内の建屋は設備の整った施設でとても快適に過ごすことができました。これからまたあの怒涛の引っ越し作業が始まるのかと思うと正直憂鬱ですが気合いを入れて頑張ります!今回は引っ越し前に備忘録的に仮事務所での我々スタッフや生き物たちの様子をお届けいたします。



また何やら展示ケースを作っている様です。何を作っているかは見てのお楽しみ!



再オープンに向けて工作の準備や新しいパネル作りも着々と進んでいます!



この春からやって来た新人さんも水槽の手入れに余念がありません



冬の間屋外で冬眠中だった爬虫類も春の日差しと暖かさを感じて動き出しました

# 水環境館だより 第71号

発行 | 平成30年2月16日



## お待たせしました! 水環境館が2018年4月に再オープンしました!

昨年の12月からおよそ4か月もの間続いていた館内の第一期工事がこの3月末にようやく完了し、この4月から再オープンすることとなりました。休館中はご迷惑、ご不便をお掛けしましたが新年度は文字通り装いも新たに心機一転、新しいイベントや展示を盛りだくさんご用意しまして皆様のご来館を心からお待ちしております。尚この春よりfacebookも始めました。ホームページや水環境館だよりではお伝えできない普段の館内の様子やイベント情報、生き物情報などをどんどん発信していきますので、2018年の水環境館をどうぞお見逃しなく!



河川観察窓には新たに漁礁が設置され、生き物たちに新たな生息空間を与えています。



多目的ホールの壁面には大型モニターが2台完備!!



水環境館Facebookはこちらから!!